

金融関係から
農家へ。
空が広い会津は
農業がたのしい。



ひろもと せいや
廣本 誠也さん(30代)

<会津若松市>

農家
(農業)

2021年 Iターン

東京の会社から農業へIターン

『会津若松市真宮地区は田園風景が近い、静かな立地です。隣接する会津坂下町は会津盆地の中央を流れる阿賀川(通称 大川)の西側に広がる平野部で、米作りが盛んな町です。農業法人の立ち上げも早く、スマート農業の実証実験が行われているなど、農業の最先端に取り組んでいる地域でもあります。』

廣本さんは埼玉県生まれ。都内の大学を卒業した後、金融関係の会社に勤務していました。廣本さんが会津若松市に移住したきっかけ、転職に農業を選んだ理由、農業をやってみての感想など、勤務先の会津坂下町の農業法人にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年9月22日

移住のきっかけと仕事

<移住のきっかけ>

きっかけは2020年に子どもが生まれたことです。いつかは田舎で暮らしたいという夫婦の夢があり、子どもが生まれたことで現実として模索をはじめました。

全国どこでもよかったのですが、ふと、義父が会津坂下町で農業法人をしていることを思い出しまして。会津坂下町には何度か来ていたのですが、その度に農業の可能性を肌で感じていました。妻には「会津じゃなくてもいいんじゃない?」と言われたこともあったのですが決めてからはまったく迷いはありませんでした。

<農業の仕事>

よく、「いままで農業やったことがなかったんだから、大変でしょう?」と聞かれるのですが、まったく大変と思うところがありません。1日草刈りをしたり、運転したことがない農作業車に乗ることもありますが、それを大変とは思わないですし、むしろ楽しいですね。

<農業法人について>

勤務先のこの農業法人は義父とその友人たちが立ち上げました。会津地域ではかなり早い方だったと聞いています。「株式会社若宮ばくさく」という名の農業法人なのですが、家族経営ではなく社員がいる会社組織です。私はここで平日の8時15分から17時15分まで勤務で、土日はお休みです。組織の一員として勤務しています。



ばくさくって最高のネーミングだと思いませんか?センスもいいですし、ロゴまであるんです。農作物を作るだけでなく、自分たちで売ること考えていることが表れているんです。私が農業の可能性を感じたのもここが最初です。

「若宮ばくさく」は長年の取組が認められ、福島県農業賞で農林水産大臣賞を受賞しました。農家さんにとっては名誉な賞なので、関係者みんなで喜びました。

農業の可能性と自分の可能性

<会津若松市での暮らし>

農業法人は会津坂下町にあるのですが、住んでいるのは車で20分ほど離れた会津若松市真宮です。会津若松市の中心部に行くにも喜多方市に行くにも20分程度と便利なんです。中心街から離れている、町はずれ感も気に入っています。

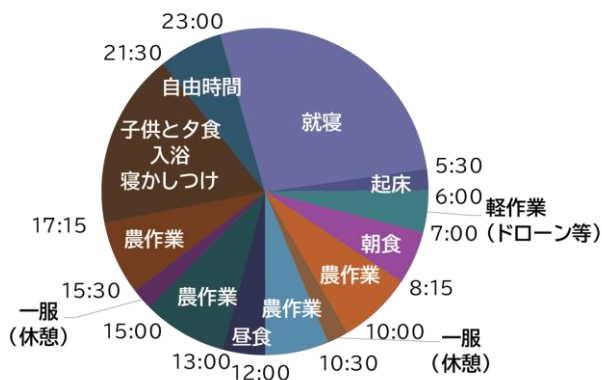
前から運転免許は持っていたのですが、車は持っていませんでしたので最初のハードルは運転でした。特に冬は家に帰る道が吹雪でまったく見えなくなることがたまにあります。この時はちょっと怖いですね。

ただ、会社から家までの道を運転するのが好きなんです。仕事が終わって軽トラで帰るのですが、空の広がりとか夕日に染まる磐梯山を見ながらとか、すごく



最近気に入っている軽トラの前で

ある一日のスケジュール



いい時間です。磐梯山を眺める時間は自分と向き合える時間でもあって、「他のところでなくて磐梯山がある会津に来てよかった」としみじみと感じる人が多いです。移住は家族との時間を大事にするためのものだったので、仕事が農業というだけで夢が叶ったと思います。あと、初めて会津坂下町に来た時、ご飯があまりに美味しくて驚きました。他にも何を食べても美味しいと思ったのも移住するポイントでした。

<廣本さんの夢>

前職では年商数百億という会社の社長さん達と経営についての仕事をしてきました。その経験から農業に企業経営の視点を取り入れればもっと良くなるのでは、と思うようになりました。

農業って朝から晩まで働いて休みもない、というイメージがあると思うのですが、実際は変わってきていると思います。ただ、機械がないと作業効率が悪かったり、冬の仕事をどうするのか、という課題があったり、まだまだ仕事として魅力を感じる人が少ないんだろうと思うのです。自分は農家になることにまったく不安はありませんでしたが、若者が仕事の選択肢に農業をいれるためには、農業法人が稼げて求人も出せる、という仕組みが必要なのだと思います。

「若宮ばくさく」では冬の仕事のひとつに蕎麦打ちがあります。これがまた美味しいんです。「若宮ばくさく」の蕎麦が人気になると嬉しいですね。

廣本さんの行動歴

埼玉県生まれ ⇒ 東京都(大学) ⇒ 東京都(就職)
⇒ 会津若松市へ(勤務地は会津坂下町)

移住を検討している方にアドバイス

雪が降るので雪道運転が必要になります。
パーパードライバーは練習が必要です。



事務所の隣の蕎麦畑。若宮ばくさくでは蕎麦もつくっている

現住人口	114,980人 男性/55,044人 女性/59,936人
面積	382.99平方キロメートル
標高	海拔 218.32m(会津若松市役所)
最寄駅	JR磐越西線「会津若松駅」
最寄IC	磐越自動車道「会津若松IC」
保・幼・こ	認可保育所 11か所 幼稚園 2園 認定こども園 18園
小学校数	公立 19校 私立 1校
中学校数	公立 12校 私立 1校
高校数	公立 6校 私立 3校
病院数	病院 7か所 診療所 95か所 歯科 54か所

市の特徴

鶴ヶ城を中心とした歴史と伝統が息づく城下町。会津地方の中心地として都市機能を備え、行政や企業の出先機関や支店等も集中している。一方で、すぐそこには素朴な里山、田園風景が広がっている。現在は行政サービスや事業にICT(情報通信技術)を導入したまちづくり“スマートシティ会津若松”に取り組んでいる。

移住サポート窓口

会津若松市定住・二地域居住推進協議会 会津若松市役所(地域づくり課)
移住ウェブサイトaizuwakamatsu-iju.jp
電話:0242-39-1202
メール:shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

